

行政事業レビューシート (外務省)

事業名	緊急事態対応要員訓練関係経費	担当部局庁	領事局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度	担当課室	邦人テロ対策室	室長 鈴木光太郎				
会計区分	一般会計	施策名	VI-2 海外邦人の安全確保に向けた取組					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第八号及び第九号	関係する計画、通知等						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	危機管理に関して極めて高い知見を有している国際連合高等難民弁務官事務所(UNHCR)が開催する緊急事態対応研修に本省及び在外職員を参加させ、大規模緊急事態における高度の対応能力を身に付けさせるもの。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国際連合難民高等弁務官事務所(UNHCR)は、長年にわたり治安情勢が不安定な地域で多く活動をしていることから、危機管理に関し極めて実践的な知見を有しており、そうした知見を活用して国連職員や人道支援関係者に対し各種の危機管理要員研修を行い、高い評価を得ている。こうした知見を習得させるため、在外公館で領事業務に従事し、邦人保護や情報収集のため治安情勢が安定しない地域に赴く必要がある在外職員をUNHCR主催の研修に参加させているが、平成23年度より皆減とした。							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		当初予算	4	1	0.8	-	-	
		補正予算	0	0	0	-		
		繰越し等	0	0	0	-		
		計	4	1	0.8	-	-	
	執行額	0.3	1	0.3				
	執行率(%)	8	64	40				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	【成果目標】 本省及び在外職員の大規模緊急事態における対応能力の向上。		成果実績	人	1	4	2	-
	【成果実績】 セミナー修了者数。達成度は参加者数及び修了者数を基に算出。		達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	セミナー開催件数。		活動実績 (当初見込み)	回	1	1	1 (1)	- (-)
単位当たりコスト	168,000(円/人)		算出根拠	(支出実績額) 336千円÷2人=168,000円/人				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	-	-					
	在外職員等旅費	-	-					
計	-	-						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本研修は、大規模緊急事態に対する危機管理対策の観点から実施してきたが、不定期に開催されることや受講人数が限られている事情を踏まえ、その効果の見直しを行った結果、平成23年度より事業を削減することとした。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	—		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
—			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入

外務省
1百万円



出張者本人
0.3百万円

〔 在外職員2名 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	在外職員A	研修への出席旅費	0.2		
2	在外職員B	研修への出席旅費	0.1		
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					